

平成30年度
北区飛鳥山博物館事業計画

1 平成30年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

(1) 展示事業

○収蔵資料活用展示の実施

春期企画展を収蔵資料の活用をねらいとして行う。また、かつて収蔵資料の紹介展示として行われたスポット展示を復活させる。

企画展No.1・No.3 スポット展示No.1

(2) 講座・講演会事業

○20周年に関連した講座の開催

過去に行われた展示や講座を振り返り、それにちなんだ講座を行う。

一般講座No.4・No.5・No.8・No.12・No.16・No.17・No.18・No.22・No.29・No.38

○コラボレーション活動の推進

他機関や市民などと共に企画する講座を行う。

一般講座No.3・No.7・No.10・No.19・No.21・No.35・No.36
夏休みわくわく講座No.10・No.11

○利用者の拡充

新たな利用者が参加できるような講座の工夫を行う。

一般講座No.3・No.11・No.15・No.28・No.33
展示関連講座No.3・No.4・No.5・No.6

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	3回
特別展覧会	1回
夏休みわくわく展示	1回
学校対応事業展示	1回
スポット展示	1回
常設展示室活用展示	2回
その他の展示	1回
計	10回

(3) 講座・催し物

一般向け講座	38講座	46回
展示関連講座	9講座	11回
わくわく講座	15講座	29回
計	62講座	86回

(2) イベント

夏休みわくわく	
ミュージアム	1回
GO! ゴー!	
ミュージアム	1回
計	2回

平成30年度の事業

※名称は仮称、実施日・回数は予定です。

1. 展示

★ 企画展 3回（内1回は29年度事業）

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	平成29年度春期企画展「徳川家光と若一王子社縁起絵巻」	3月17日（土）～ 5月6日（日）	特別展示室 ホワイエ	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>最近の近世史学界でトピックとなっている寛永期における個別神社造営と、幕府寺社政策の比較検討は有効な問題視角を提供しているところである。本企画展では、当館所蔵の若一王子縁起絵巻展示を通じて、開館以来取り扱ってこなかった近世初期の地域像を明らかにするとともに、狩野派の画業ならびに幕府儒官林羅山の神道説を紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>高額備品資料を活用した区民還元展示。これまであまり当館ではとりあげてこなかった江戸時代初期の寛永年間の地域史を紹介することによって、来館者の知的好奇心に訴求する。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	秋期企画展「都電の記憶—写真家西山英明の世界Ⅱ—」	10月27日（土）～ 12月9日（日）	特別展示室	中野
<p>〈概 略〉</p> <p>2015年に開催した「都電残照'67」に続く都電企画。前回扱えなかった北区周辺を走行する都電に焦点を当てて社会派カメラマンならではの視点で19系統・32系統など昭和43年当時北区周辺を走行していた都電について撮影された作品を紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>都電交通の姿を未発表写真オリジナルの作品で味わう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
3	春期企画展「明治大正*東京名所そろ歩き」	平成31年3月16日（土） ～5月12日（日）	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>当館所蔵の明治・大正期の名所案内や名所絵をベースに、明治維新後の江戸・東京の変貌を解説し、その背景に浮かび上がる時代性をさぐる。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>収蔵品の活用とともに、近年特に盛んな街めぐりを楽しむ人々の来</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	

館を促す。	
〈備 考〉	

★ 特別展覧会 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	特別展覧会「第17回 人間国宝奥 山峰石と北区の工芸作家展」	9月8日(土)～ 10月8日(月・祝)	特別展示室 ホワイエ	久保埜
〈概 略〉 北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作品を一堂に展示する。				
〈ねらい〉 区民に美術工芸作品を身近に鑑賞する機会を供し、美術工芸分野に関心がある層の来館を促す。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				

★ 夏休みわくわく展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2018「道具のカガク」	7月21日(土)～ 8月26日(日)	特別展示室	工藤
〈概 略〉 「夏休みわくわくミュージアム☆2018」の一環。区内の人々が実際に使用していた民俗資料を題材に、それぞれの資料に込められた昔の人の知恵や工夫、生活の様子などを紹介する。				
〈ねらい〉 自由研究への素材提供。民俗資料への理解・関心を喚起する。			〈対 象〉 小中学生とその保護者	
〈備 考〉				

★ 学校対応事業展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、さわって！昔の道具	平成31年1月8日(火)～ 2月28日(木)	特別展示室	石倉
〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の明治の終わり頃から昭和の				

中ごろの生活用具を展示。	
〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。	〈対 象〉 小学生および一般
〈備 考〉 学校対応は展示と共に昔の道具（既製品）を使う体験事業とセットで行う。一般の方の展示観覧は土・日・祝日および平日の学校見学が入っていない時間帯。	

★ スポット展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	かえってきた！ASUKAYAMA セクション5ー集え！収蔵庫のい れものたちー	5月22日（火）～ 6月24日（日）	特別展示室	安武
〈概 略〉 学芸員がおすすめする収蔵資料5点を、そのみどころも含めて紹介。今回のテーマは容れものとする。				
〈ねらい〉 収蔵資料の活用。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				

★ 常設展示室活用展示 2回（内1回は29年度事業）

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	〈回想のための〉テーマ展示「オボ エテマスカ？ー懐かしの暮らしと道 具ー」	3月10日（土）～6月17 日（日）	常設展示室	久保埜
〈概 略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				
2	〈回想のための〉テーマ展示「オボ エテマスカ？ー懐かしの暮らしと道 具ー」	平成31年3月21日 （木・祝）～6月16日（日）	常設展示室	工藤
〈概 略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				

〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。	〈対 象〉 一般
〈備 考〉	

★ その他の展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	旧古河庭園 100 年記念パネル展示 「旧古河庭園をめぐる人びと」	5月22日(火)～ 6月24日(日)	ホワイエ	山口
〈概 略〉 古河虎之助、建築家ジョサイア・コンドル、日本庭園を作庭した小川治兵衛をはじめ、古河庭園に縁のある人々とともに、100年を経た旧古河庭園を紹介する。				
〈ねらい〉 旧古河庭園の100周年イヤーに協力する形で、文化財ロードでもある、王子―上中里―田端間での各施設の見学者等の相互交流・来館者増をねらう。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉 パネル中心の展示とする。				

2. イベント

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2018	7月21日(土)～ 8月26日(日)	特別展示室 ホワイエ 常設展示室 体験学習室	工藤
〈概 略〉 博物館で北区の魅力を再発見してもらうために、館内各地でさまざまな催し物を行う。特別展示室では「道具のカガク-集まれ!北区のタカラモノ-」を実施(概要は夏休みわくわく展示参照)。ホワイエでは「地域しらべのスヌメコーナー」を設置し、自由研究をサポートする。また、同じホワイエにおいては「絵本&ぬり絵コーナー」を設置。常設展示室では楽しんで展示を巡る「ブラック・コン吉を探せ!」を行う。さらに、体験学習室を中心に各所講座を開催する(詳細は夏休みわくわく講座参照)。				
〈ねらい〉 夏休みの自由研究の宿題につながる催し物とする。また、絵本&ぬり絵コーナーとブラック・コン吉を探せ!は未就学児でも博物館を楽しんでもらうために実施。			〈対 象〉 小中学生とその家族	

〈備 考〉				
2	飛鳥山3つの博物館合同企画「GO! ゴー! ミュージアム2018」	10月6日(土)・7日(日)	常設展示室 体験学習室	鈴木
〈概 略〉 3館の常設展示室をめぐるクイズラリーを実施。その他各館独自のイベントを行う。当館は体験学習室において勾玉ストラップづくりを実施。				
〈ねらい〉 区民まつりに参加し、3館をPRする。普段博物館をあまり利用しない人に身近に感じてもらうようにする。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				

3. 講座・講演会

★ 一般講座 38講座 46回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	北区における郷土史の父・五十嵐重作	4月14日(土)	講堂	60名	中野
〈概 略〉 郷土史に先駆的な役割を果たした五十嵐重作の人となりについて、同氏が遺したスクラップ帳等を手がかりに解説する。					
〈ねらい〉 博物館前史への理解を促す。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
2	北区民俗学講座「北区の旧村地域を歩く! 下村編」	4月21日(土)	講堂 野外	30名	工藤
〈概 略〉 区内の民俗学的な事象を巡る講座。今回は旧下村地域の成り立ちや特徴を見て歩く。					
〈ねらい〉 自身が暮らす地域に対し、新たな視点を獲得することで地域への愛着を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
3	こんにちは赤ちゃん体験講座「アーユレディ? 博物館でお産準備」	4月22日(日)	講堂 体験学習室	22名	安武

	備」				
<p>〈概 略〉</p> <p>体操を通しての妊婦の身体づくりと、安産などを願う縄文時代の祈りの道具「土偶」づくりを行う。助産師からお産にかかわる話や妊婦体操等をご指導いただいたのちに、担当学芸員と土偶づくりを行う。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館利用者の枠を広げる。助産師の方との異ジャンルコラボレーション。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>北区内在住または在勤の妊婦とその家族</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。講師：筏井沙織氏（助産師）</p>					
4	開館 20 周年記念講座 北区遺跡学講座リターンズ「豊島馬場遺跡」	4月28日（土）	講堂 野外	30名	牛山
<p>〈概 略〉</p> <p>北区内の 1 遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。今回は平成 27 年冬に訪ねた豊島馬場遺跡を再訪する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。前回落選された方の救済と新規参加者の拡充。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
5	開館 20 周年記念講座 桜と名所の講座 2 「桜の美学と実学」	4月30日（月・祝）	講堂	80名	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>開館 20 周年を機に開館記念特別展「さく-L a」を振り返り、近世に発展した桜の美術と学問について解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>20 周年を振り返る。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
6	小説から読み解く明治期の東京北西郊	5月12日（土）	講堂	60名	中野
<p>〈概 略〉</p> <p>泉鏡花の作品には赤羽・新宿間の鉄道沿線を舞台としたものがあり、その内容・時代背景などを検討する。</p>					

〈ねらい〉 鉄道の敷設が文芸に与える影響を地域の視点で考察する。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。					
7	北区文化財めぐり	5月13日(日)	講堂 常設展示室 野外	30名	山口 田中
〈概 略〉 王子から西ヶ原にかけて所在する区・都・国指定文化財を学芸員が現地で説明しながらめぐる。					
〈ねらい〉 区内の文化財を知ってもらうことと併せて、考古、渋沢史料館学芸員とのコラボレーションをはかることで、より深い解説を提供する。常設展示室の利用促進。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。博物館常設展示室(丸木舟等)、渋沢史料館(晩香廬・青淵文庫)、旧古河庭園はそれぞれの施設の担当者に解説を依頼。					
8	開館20周年記念講座「桜と名所の講座3 名所の変遷をたどる」	5月19日(土)	講堂 野外	30名	久保 埜
〈概 略〉 開館20周年を機に過去好評だった講座を復活。江戸時代の桜の名所に関する話の後に、品川周辺を歩く。					
〈ねらい〉 20周年を振り返る。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
9	吉宗と王子・飛鳥山	5月20日(日)	講堂	80名	石倉
〈概 略〉 享保改革期、飛鳥山をはじめとする江戸周辺部における将軍・徳川吉宗の遊園政策について解説する。					
〈ねらい〉 新規利用者の拡充。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
10	飛鳥山3つの博物館合同企画「歴史発見! 街めぐり 2018-王子・飛鳥山再発見の旅-」	5月26日(土)	講堂 野外	35名	鈴木

<p>〈概 略〉 区内に遺された、飛鳥山3つの博物館にまつわる史跡などを3館の学芸員がレクチャーを交えながらめぐる。</p>					
<p>〈ねらい〉 街に残る身近な歴史を、自らの足でたどって実感してもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。午前中に座学を行い、午後に現地見学。</p>					
11	北区ジュニア考古学クラブ 「教科書でみたあの時代に てみようー縄文時代編ー」	6月3日・10日各(日) 全2回	講堂 野外	16名	安武
<p>〈概 略〉 教科書に載っているような貝塚をめぐって、縄文時代を体感してもらう。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学への興味を高める。新たな利用者の獲得。</p>			<p>〈対 象〉 小中学生と保護者</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。現地見学は北区内の貝塚と千葉市内の貝塚。遠隔地の見学にはマイクロバスを使用。</p>					
12	開館20周年記念講座「ドナルド・キーンと北区 ひとすじの道をたどって」	6月16日(土)	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉 6年前に行った、北区名誉区民のキーン氏の特別展覧会を振り返り、その偉業を改めてたどる。</p>					
<p>〈ねらい〉 講座を通じて、風化しつつある震災の記憶を新たにし、キーン氏の業績を区民に分かりやすく解説する。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
13	「お富士さん」直前！北区の富士塚を見に行こう	6月24日(日)	講堂 野外	30名	田中
<p>〈概 略〉 江戸時代、区内の浮間から田端までみられた富士講の活動について講義し、実際の富士塚の現地見学を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定文化財の十条富士塚などを現地でみることによって、富士塚の構造を理解し、関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					

14	第32回新聞から読む考古学— 2018年上半期を振り返る—	7月1日(日)	講堂	80名	鈴木
<p>〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは!と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2018年上半期の記事を取り上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
15	北区ジュニア考古学クラブ 「縄文時代の貝輪づくり」	8月25日(土)	野外 体験学習室	16名	安武 鈴木
<p>〈概 略〉 縄文人が作って身に着けていた貝輪を実際に作ってみる。1日目は材料の貝殻を採集に行き、2日目に貝輪づくりを行う。製作には講師を招く。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学への興味を高める。新たな利用者の獲得。</p>			<p>〈対 象〉 小中学生と保護者</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。講師：阿部芳郎氏(明治大学文学部教授)</p>					
16	開館20周年記念講座「駅弁掛け 紙の図像学」	8月26日(日)	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉 東日本大震災の春に開催した駅弁掛け紙に関する展示内容を中心に、被災地をはじめ全国各地の大正期から現代に至る駅弁掛け紙に表象された各地の名所観をたどる講座。</p>					
<p>〈ねらい〉 全国的な文化の均質化が進む現代において、地産地消で地域特性を色濃く反映した各地の駅弁を題材に、個別性への関心を抱いていた ただくことをねらいとする。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
17	開館20周年記念講座「あるけお ろじー 古代東海道をたどる」	9月16日・23日・30日各(日)全3回	講堂 野外	30名	鈴木
<p>〈概 略〉 20周年を記念して過去の講座の中から好評だった講座を復活。今回は北区の豊島郡衙から、葛飾区立石を經由して市川市の下総国府に向かうルートをとる。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会のような団体への発展を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		

<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
18	開館20周年記念講座「赤レンガと酒づくり」	9月24日(月・祝)	講堂	80名	田中
<p>〈概略〉 平成27年に行った展示内容を振り返り、醸造試験所と北区の醸造業について講義する。</p>					
<p>〈ねらい〉 明治時代の国家財政を左右する酒税に関する研究施設が北区に所在したことを説明。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。研究報告18号をテキストとする。</p>					
19	飛鳥山3つの博物館合同企画 GO!ゴー!ミュージアム2018「勾玉ストラップをつくろう!」	10月6日(土)・7日(日)計2回	体験学習室	200名	鈴木
<p>〈概略〉 各館がそれぞれ体験行事を開催。飛鳥山博物館は勾玉ストラップ作りを予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 区民まつりに参加し、3館をPRする。普段博物館をあまり利用しない人に身近に感じてもらうようにする。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
20	鎌倉街道を歩く	10月13日(土)	講堂 野外	30名	牛山
<p>〈概略〉 鎌倉街道中つ道について考古学的視点から考察し、区内を通る道筋を実際に歩いてみる。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学への興味を高める。新たな利用者の獲得。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
21	東京9区文化財古民家めぐり「旧松澤家住宅説明会」	10月14日(日) 午前・午後 計2回	北区ふるさと農家体験館	各回30名	山口
<p>〈概略〉 北区ふるさと農家体験館運営協議会と共同で見学会を行う。ふだん見ることができない屋根裏も公開。</p>					

<ねらい> 古民家への理解促進を図る。北区ふるさと農家体験館運営協議会とのコラボレーション。		<対 象> 一般			
<備 考> 継続講座。					
22	開館 20 周年記念講座「飛行機と童謡の 1919 年」	10月20日（土）	講堂	80名	石倉
<概 略> 平成11年と平成14年に行った展示を中心に、1919年を軸に北区地域に展開した二つのプロジェクト、「赤羽飛行機製作所」と「金の船・金の星」創刊を対比しつつ、大正時代の社会・文化にひろがった自由主義・理想主義をふり返る。					
<ねらい> 近代日本の市民社会展開のあとを、地域史のなかから探る。		<対 象> 一般			
<備 考> 新規講座。					
23	北区民俗学講座「北区の民話」	10月27日（土）	講堂	80名	工藤
<概 略> 北区に伝わる民話を分類・比較し内容を深く理解することで、民話を語り継ぎ、あるいは生みだしてきた人々の心意感覚を探る。					
<ねらい> 地域の民話から人々の生活の中で生まれた心意感覚を理解する。		<対 象> 一般			
<備 考> 新規講座。					
24	北区遺跡学講座 2018「(未定)」	11月3日（土）	講堂 野外	30名	牛山
<概 略> 北区内の 1 遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。					
<ねらい> 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。		<対 象> 一般			
<備 考> 継続講座。					
25	川柳で読み解く江戸散歩	11月4日（日）	講堂	80名	石倉
<概 略> 平成 29 年度も好評を博した、たばこと塩の博物館学芸員による江戸文化史講座を本年も実施する。					

<p>〈ねらい〉 当館ではスタッフ的に実施できない江戸文芸資料を使った文化史講座を実施することにより、より近世史への関心を惹起することが可能となる。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。外部講師：谷田有史氏（たばこと塩の博物館学芸員）</p>					
26	文化財講演会「植治の庭、西・東」	11月10日（土）	講堂	80名	山口
<p>〈概 略〉 旧古河庭園の日本庭園を作庭した7代目植治の魅力や、関西・関東の植治の庭の作庭の違いや特色、文化財庭園の保存等について講師を招いて講演いただく。</p>					
<p>〈ねらい〉 飛鳥山公園とは別の近代庭園である旧古河庭園の魅力を伝えるとともに、古河庭園に来園する方々に、飛鳥山博物館を知ってもらおう。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。外部講師：尼崎博正氏（京都芸術大学教授）</p>					
27	北区の近代建築を巡る	11月16日（金）	講堂 野外	30名	山口
<p>〈概 略〉 醸造試験所・旧渋沢家飛鳥山邸・旧古河邸の3つの国指定文化財の建物を現地で解説し、見学する。</p>					
<p>〈ねらい〉 建築に焦点を当てて、区内に残る重要文化財（名勝含）建造物の見どころを伝えることで、文化財建造物の保存に関心を持ってもらう。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
28	ちびっこ体験講座「あすかやまのどんぐりで、おもちゃをつくろう！」	11月17日（土）	体験学習室 飛鳥山公園	30名	安武
<p>〈概 略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内に落ちているどんぐりを拾って、オリジナルのでんでんたいこと、マラカスを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 博物館利用者の枠を広げる。</p>		<p>〈対 象〉 北区内在住または在園の未就学児（4、5歳児）とその保護者の2～3名1組</p>			

<p>〈備 考〉 継続講座。雨天時翌日開催。</p>					
29	開館 20 周年記念講座「飛鳥山歴史探検隊」	12月1日(土)・2日(日)全2回	講堂 飛鳥山公園	30名	田中
<p>〈概 略〉 平成 27 年に行った講座の復活。古代・近世・近現代それぞれの時代の飛鳥山の様子を座学で解説した後、飛鳥山公園内をめぐりながら解説。1 日目は講堂での座学を行い、2 日目に飛鳥山公園を散策する。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区飛鳥山博物館の「地元」である飛鳥山について知る。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。専門の異なる学芸員で分担。</p>					
30	文化財公開事業「稲付の餅搗き唄」の実演と体験	12月8日(土)	北区ふるさと農家体験館	300名	山口
<p>〈概 略〉 区指定無形民俗文化財の「稲付の餅搗唄」の実演を継承地域の付近の体験館で実施する。併せて、見学者にも実際に餅を搗いてもらう。地元の西が丘小の児童に参加してもらうことで、土地に伝わる伝統芸能についての小学校への取り組みを区民等に知ってもらう。ついた餅は見学者にふるまう。</p>					
<p>〈ねらい〉 区指定無形民俗文化財「稲付の餅搗唄」の周知を図り、文化財啓発を図る。また、西が丘小、赤羽商業高校等の参加を促し、次世代への文化財継承の一助とする。</p>			<p>〈対 象〉 一般・小中高校生</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。近隣の赤羽商業高校等へ、見学・参加を促し、高校生へのアプローチを図る。</p>					
31	考古楽講座<中級編>考古学を学ぶー顔料の話ー	12月16日(日)	講堂	80名	安武
<p>〈概 略〉 古代人の色彩感覚について、生活道具や装身具、墳墓に使用された例から探る。</p>					
<p>〈ねらい〉 遺跡や遺物への理解や関心を高める。新規来館者の獲得。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
32	第33回新聞から読む考古学ー2018年下半年を振り返るー	12月22日(土)	講堂	80名	鈴木
<p>〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講</p>					

座。今回は2018年下半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
33	北区ジュニア考古学クラブ 「教科書でみたあの時代にいっ てみようー古墳時代編ー」	1月27日・2月3日各 (日)全2回	講堂 野外	16名	安武
〈概 略〉 教科書に載っているような古墳をめぐって、古墳時代を体感してもらう。					
〈ねらい〉 考古学への興味を高める。新たな利用者の獲得。			〈対 象〉 小中学生と保護者		
〈備 考〉 新規講座。現地見学は北区内の古墳と東京都内の古墳。遠隔地の見学にはマイクロバスを使用。					
34	鑑賞のすゝめ	2月9日(土)	体験学習室	30名	工藤
〈概 略〉 収蔵資料を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。					
〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的 で深い学びを促す。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
35	飛鳥山3つの博物館合同企画「飛 鳥山1日大学」	2月16日(土)	講堂	80名	鈴木
〈概 略〉 講座を1日だけ開かれる大学にみたくて、授業形式で行う。講師は3館の学芸員がつとめ、講義は3 館にかかわる事象の中から共通するテーマを選んで行う。					
〈ねらい〉 各館の特色を知ってもらい、PRにつなげる。飛鳥山3つの博物 館の一体感を印象付ける。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。学生証・修了証を配布。					
36	考古楽講座 遺跡に行こう!春	3月2日(土)・3日(日) 全2回	講堂 野外	30名	鈴木

<p>〈概 略〉</p> <p>各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会のような団体への発展を促す。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。昨年度に引き続き「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の实地踏査、当日の見学会までを行う。</p>					
37	早春の旧中山道を歩き本郷へ向かう！	3月17日（日）	講堂 野外	30名	中野
<p>〈概 略〉</p> <p>志村一里塚から滝野川の平尾一里塚跡まで辿った昨年度に引き続き、今年度は旧中山道をその先平尾一里塚跡から本郷の追分一里塚跡まで歩き、里程を実感するとともに沿道の街並みや歴史遺産などを観察する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>中山道について理解を深めるとともに、日光御成道との関わりについても意識してもらう。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
38	開館20周年記念講座「考古学と保存科学－考古資料が博物館に並ぶまでの軌跡をたどる－」	3月21日（木・祝）	講堂	30名	安武
<p>〈概 略〉</p> <p>発掘調査で出土した資料が、博物館で収蔵・展示されるまでの流れを、木製品・鉄製品に注目して、保存科学の視点から紹介するもの。あわせて収蔵庫内の見学も行う。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館業務への理解や関心を高める。</p>				<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					

★展示関連講座 9講座 11回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	春期企画展関連講座「若一王子縁起絵巻の世界」	5月6日（日）	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>当館所蔵の「若一王子社縁起」を題材に、近世初期の地域における幕藩権力の動向を、徳川家光による王子神社社殿築造の歴史から学ぶ。</p>					

〈ねらい〉 春期企画展開催にあわせて展示をより理解するため実施する。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。					
2	スポット展示関連イベント 「スポット展示まるっと解説」	6月23日(土)	特別展示室	20名	安武
〈概 略〉 スポット展示「かえってきた! ASUKAYAMAセクション 5★2018★」の展示解説。特に注目してほしいところを、展示担当学芸員が熱く語る。					
〈ねらい〉 展示資料への理解を深める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。					
3	特別展覧会付帯事業 陶芸を楽しむ学ぶ講座	9月15日(土)	体験学習室	20名	久保埜
〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。					
〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
4	特別展覧会付帯事業 人間国宝に学ぶ! 鍛金体験講座	9月22日(土) 午前・午後 計2回	体験学習室	11名	久保埜
〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、人間国宝・奥山峰石氏の講師に迎えて、金属のストラップなどを製作する。					
〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
5	特別展覧会付帯事業 金工に親しみ学ぶ講座	9月29日(土)	体験学習室	13名	久保埜
〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。					

〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
6	特別展覧会付帯事業 作家が語る！作品解説	10月8日（月・祝）	特別展示室	20名	久保埜
〈概 略〉 制作の意図や技術についてより理解を深めてもらうことを目的として、出展作家（4～5名）が自らの作品の意図や技法などについて解説をおこなう。					
〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。日程変更の可能性あり。					
7	秋期企画展関連事業 学芸員によるフロアレクチャー	10月28日・11月1日各（日）計2回	特別展示室	30名	中野
〈概 略〉 展示の見どころや展示物や印刷物等に収めきれなかった事柄について解説する。					
〈ねらい〉 展示内容の理解を増幅させる。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。					
8	秋期企画展関連事業 映像企画「都電の記憶」	12月9日（日）	講堂	60名	中野
〈概 略〉 都電物語（都映協 1965）・わが道を行く—都電 32 系統（都映協 1970）・都電荒川線（都映協 1983）の3本の記録映画を上映するほか、写真撮影者の西山英明さんから撮影当時の話を詳細に伺う。					
〈ねらい〉 被写体としての都電交通の魅力を伝える。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。講師：西山英明氏（写真撮影者）。					
9	春期企画展関連講座「明治大正 ＊東京名所そぞろ歩き—解説いたしませう」	3月23日（土）	特別展示室	30名	久保埜
〈概 略〉 展示担当者が展示室を案内しながら解説する。					

〈ねらい〉 企画展の内容をより深く理解してもらう。	〈対 象〉 一般
〈備 考〉 新規講座。	

★ 夏休みわくわく講座 15講座 29回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	夏休み土器づくり教室	7月22日(日)・27日(金)・8月5日(日)・10日(金)・19日(日) 計5回	体験学習室	各 16組 32名	鈴木 安武
〈概 略〉 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。					
〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。			〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組。		
〈備 考〉 継続講座。親子で1つの土器を作る。					
2	夏休み勾玉づくり教室	7月24日(火)・8月1日(水)・7日(火)・15日(水)・21日(火) 計5回	体験学習室	各 16組 32名	鈴木 安武
〈概 略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。					
〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。			〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組。		
〈備 考〉 継続講座。保護者も製作可。					
3	はくぶつかん探検隊	7月25日(水)・8月1日(土)計2回	体験学習室 館内	各 30名	工藤
〈概 略〉 常設展示室と館内、バックヤードを担当学芸員が案内する。					
〈ねらい〉 博物館に愛着を持ってもらう。			〈対 象〉 小中学生		

<p><備 考> 新規講座。</p>					
4	地下鉄南北線車庫見学会	7月26日(木)	講堂 現地	20組 40名	中野
<p><概 略> 東京メトロ南北線の車庫を訪ね、構内設備と車両整備の様子を見学する。</p>					
<p><ねらい> 北区の鉄道史に関心を持ってもらうきっかけ作りとする。</p>			<p><対 象> 小学3年生～中学生と保護者の2名1組。</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
5	ムクロジシャボン作りと昔のせんたく体験	7月26日(木)・8月2日(木)	搬入口周辺	各 30名	工藤
<p><概 略> たらいや洗濯板を使って昔の洗濯を体験する。</p>					
<p><ねらい> 昔の人々の知恵や工夫を知ってもらう。</p>			<p><対 象> 小学生～中学生と保護者の1～2名1組。</p>		
<p><備 考> 新規講座。小学5年生以上は本人のみの参加も可。</p>					
6	チャレンジ！昔の手仕事～藍染～	7月28日(土)・29日(日) 計2回	体験学習室	各 24名	久保埜
<p><概 略> 藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。</p>					
<p><ねらい> 低年齢層の利用を促す。</p>			<p><対 象> 小学生2名までと保護者1名の2～3名1組。</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
7	江戸の縁起物【絵馬】を作ろう！	7月31日・8月14日 各(火)計2回	体験学習室	各 16組 32名	石倉
<p><概 略> 板にポスカで塗って昔ながらの絵馬を作る。</p>					
<p><ねらい> 近世の縁起物の奥深い世界を、体験学習を通じて学ぶ。</p>			<p><対 象> 小学生～中学生と保護者の2名1組。</p>		

<p><備 考> 継続講座。</p>					
8	都電荒川線車庫見学会	8月2日(木)	講堂 現地	20組 40名	中野
<p><概 略> 都電荒川線の車庫を訪ね、構内整備と車両整備の様子を見学する。</p>					
<p><ねらい> 北区の鉄道史に関心を持ってもらうきっかけ作りとする。</p>			<p><対 象> 小学3年生～中学生と保護者の2名1組。</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
9	昔のおもちゃを作って、いっしょに遊ぼう	8月3日(金)	体験学習室 講堂	32名	久保埜 鈴木
<p><概 略> 割り箸鉄砲など、昔ながらの手作りおもちゃを作り、全員で実際に遊んでみる。</p>					
<p><ねらい> 低年齢層の利用を促す。</p>			<p><対 象> 年長～小学生2名までと保護者1名の2～3名1組。</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
10	飛鳥山3つの博物館合同企画 「第10回3館まとめてクイズラリー めざせ!あすか山クイズ王」	8月4日(土)	講堂 常設展示室	10組 20～ 50名	鈴木
<p><概 略> 各館の常設展示室の内容をテーマにしたクイズを解きながら3館を巡る。</p>					
<p><ねらい> 3つの博物館を楽しみながら知ってもらう。</p>			<p><対 象> 小中学生と保護者の2～5名1組</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
11	夏休み縄文人なりきり体験教室	8月8日(水) 午前・午後 計2回	講堂 搬入口周辺	各回 30名	安武
<p><概 略> 外部講師に依頼し、縄文時代の衣食住にかかわる体験(縄文服体験、火おこし体験、弓矢体験、石皿・磨石体験など)を行うもの。参加者には「なりきり縄文人認定証」をプレゼントする。</p>					

<p>〈ねらい〉 縄文文化への理解や関心を高める。他機関とのコラボレーション。</p>		<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生2名までとその保護者1名の2～3名1組。</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。東京都埋蔵文化財センターとの共同事業。</p>					
12	牛乳パックで行燈づくり	8月9日(木)	北区ふるさと農家体験館	16組 32名	山口
<p>〈概 略〉 牛乳紙パックと豆電球を使って、昔の灯りの道具・行燈を作る。完成後は古民家で昔の暗さを感じつつ、灯りをとます。</p>					
<p>〈ねらい〉 昔の明かりの明るさを体験してもらおう。北区ふるさと農家体験館の周知。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
13	キツネのからくり紙人形を作ろう	8月12日(日)	体験学習室	30名	久保埜
<p>〈概 略〉 親子を対象に、江戸時代に王子土産として知られていた狐の紙人形を模して人形を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 工作を通して、地域の歴史や文化について興味をもってもらおう。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生以上の子ども1名と保護者1名の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
14	石神井川の秘密を探ろう!	8月16日(木)	体験学習室 野外	10組 20名	中野
<p>〈概 略〉 石神井川の河道の変化と現在残っている地形について、座学と野外探訪を組み合わせ学習する。</p>					
<p>〈ねらい〉 石神井川の流れについて関心を持ってもらうきっかけ作りとする。</p>			<p>〈対 象〉 小学5年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
15	和のデザインで団扇作り	8月17日(金)・18日(土) 計2回	体験学習室	16組 32名	田中

<p>〈概 略〉</p> <p>団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、骨に紙を貼って団扇をつくり、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。</p>	
<p>〈ねらい〉</p> <p>昔の人は道具（団扇）を修理しながら大切に使っていたことを伝える。自分だけの団扇をすることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。</p>	<p>〈対 象〉</p> <p>小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>	

4. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、さわって！昔の道具	平成30年1月8日(火)～ 2月28日(木)	特別展示室 野外 講堂	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の明治の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示し、調べ学習を行う。また、昔の道具（既製品）を使う体験事業（かまど体験・せんたく体験・ふるしき体験）とセットで行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>区内小学校中学年</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	体験授業（考古学）	通年（依頼に応じて実施）	体験学習室	鈴木 安武
<p>〈概 略〉</p> <p>土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>大昔の人の技術や工夫を学ぶ。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>区内小学校6年生</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
3	出張授業	通年（依頼に応じて実施）	依頼先学校	学芸員
<p>〈概 略〉</p> <p>北区の歴史や自然、民俗に関することを学校に赴き授業を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p>			<p>〈対 象〉</p>	

北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。		区内の小学校・中学校・高等学校		
〈備考〉 内容によって担当学芸員を決定。				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	事務員 学芸員
〈概 略〉 博物館の業務に関して話をしたり、体験をしてもらう。				
〈ねらい〉 博物館の業務の理解を深めてもらう。			〈対 象〉 区内の中学校・高等学校	
〈備考〉				

5. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	7月31日（火）～8月1 2日（日）	館内	鈴木
〈概 略〉 準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。				
〈ねらい〉 学芸員の仕事を実際に行い、体験することで理解を深める。			〈対 象〉 大学等で学芸員養成課程を受講している人	
〈備考〉 4月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。				
2	見学実習	通年（依頼に応じて実施）	館内	鈴木 石倉 久保埜
〈概 略〉 一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
〈ねらい〉 博物館の実態を知ってもらう。			〈対 象〉 学芸員養成課程を開講している大学	
〈備考〉				

6. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関	久保埜
<p>〈概 略〉 博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。</p>				
<p>〈ねらい〉 博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。</p>			<p>〈対 象〉 高齢者介護施設など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂	学芸員
<p>〈概 略〉 外部機関からの依頼に応じて講義を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 依頼機関への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉 当館講堂で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。</p>				

7. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般団体</p>	
<p>〈備 考〉 担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。</p>				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				

<p>〈ねらい〉</p> <p>北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>	<p>〈対 象〉</p> <p>幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校</p>
<p>〈備 考〉</p> <p>担当は窓口。</p>	

8. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	鈴木 久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>館蔵資料を貸し出す。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>他館等への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>博物館・研究機関・学校など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	鈴木 久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>個人や会社などへの協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>個人・博物館・学校・会社 など</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

9. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。</p>				

〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。		〈対 象〉 一般		
〈備 考〉				
2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に 応じて実施）	—	学芸員
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。		〈対 象〉 古美術店・古書店 など		
〈備 考〉				

10. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
〈概 略〉 虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				
〈ねらい〉 環境保全。		〈対 象〉 館内		
〈備 考〉				
2	燻蒸	6月30日（土）～7月9 日（月）	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜
〈概 略〉 館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉 資料の保全。		〈対 象〉 各種資料		
〈備 考〉				